

つくばリポジトリの概要



つくばリポジトリは、筑波大学で生み出された研究・教育成果(学術論文・博士論文・研究報告書・教材など)を永続的に蓄積・保存し、インターネットを通して誰でも無料でアクセスできるように公開する学術コンテンツデータベース(機関リポジトリ)です。学内の研究者の皆さんの業績の可視性が高まり、広く世間一般にアピールすることができます。

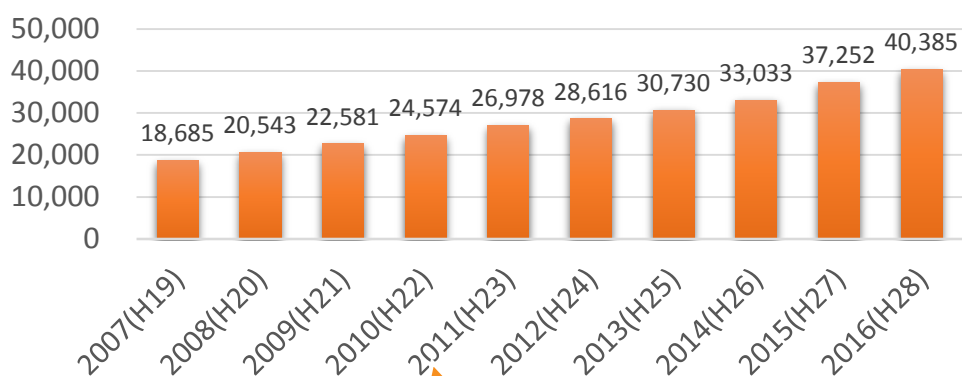
国内で最も古い機関リポジトリの一つとして、今日も筑波大学の研究・教育活動を発信し続けています。



<https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>

Let's Access!!

つくばリポジトリ 登録コンテンツ数推移



東日本大震災

筑波大学オープンアクセス方針

つくばリポジトリのしくみ



※エンバーゴ(embargo)……出版社や学協会が定める「公開猶予期間」のこと。例えばある出版社が自社で出版している学術誌Aのエンバーゴを12ヶ月と定めている場合、Aに掲載された論文をつくばリポジトリに転載するには、Aの発行から12ヶ月待たなければならない。

オープンアクセスとは

オープンアクセス (Open Access) は、インターネット上で論文などの学術情報を自由に利用できるようにすることです。手段によってゴールドロード (Gold Road) とグリーンロード (Green Road) の二つに大別されます。

世界中の人と通信しあえるインターネットを利用して無料で論文を公表すると、紙で印刷された雑誌に載せるよりも多くの人の目に触れる可能性があります。また、公的資金が投入された研究の成果を、研究者のみならず一般の人々が見られるようにすることで、研究者や研究機関として説明責任を果たすことができます。加えて、研究の過程で作成・利用したデータを公開すれば、研究不正対策にもつながります。

論文を読む側の人々の観点でも、オープンアクセスはメリットが多くあります。お金がかからないだけでなく、紙の雑誌が本棚を圧迫することもないのです。オープンアクセスは現在と未来の学術研究成果のメインストリームと言えるでしょう。



筑波大学オープンアクセス方針

オープンアクセスの重要性が時代とともに認められるようになったことから、平成27(2015)年11月、筑波大学は**オープンアクセス方針**を定めました。これにより、学術雑誌に掲載された本学教員の学術研究成果は、筑波大学の機関リポジリである「つくばリポジリ」で公開することが原則となりました。

国内の取組み

日本のオープンアクセスの主流は、大学や研究所の図書館が運用する**機関リポジトリ**です。機関リポジトリを担当する図書館職員はさまざまな互助組織をゆるやかに形成し、意見交換や合同研修を頻繁に行っていました。



2013年には博士学位取得者は**学位論文をインターネット上に公開**することが義務とされ、機関リポジトリはその公開の場となります。さらに2015年からは科学研究費(科研費)助成事業を受け持つ日本学術振興会(JST)も**科研費による研究成果論文のオープンアクセス化**を推奨。誰でも無料で自由に論文へアクセスできる環境づくりを推進しています。

海外の取組み

オープンアクセスの概念が生まれたのは、出版社による学術雑誌の寡占と価格高騰への反発がきっかけでした。そのためオープンアクセスの歴史は、図書館と商業出版社との戦いの歴史と言い換えることもできます。

「**転覆提案**」という過激な表現を用いながらグリーンロードを提唱したのは認知科学者のスティーブン・ハーナド(Stevan Harnad, 1994年)。

これを皮切りにオープンアクセスの概念は世界中に拡散し始め、やがて世界のオープンアクセスの潮流は1998年設立のSPARC(Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition)を中心とするようになります。

2002年に公表された**ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ(BOAI)**は、オープンアクセスという用語を広め、グリーンロードとゴールドロードを提示。その後は大手商業出版社もゴールドロードという形でオープンアクセス市場に参入するようになり、着実にシェアを拡大しています。



← 英語が得意な人はBOAI (Budapest Open Access Initiative) 原文を読んでみよう!

リポジトリ人気ランキング上位論文

つくばリポジトリに掲載されている論文は、最先端の研究論文から本学で古くに発行された紀要の論文まで、あるいは医学・理工学から文学・哲学まで多種多様。中にはみなさんの興味を惹く論文があるかも!?

現代人における年中行事と見出される意味：
恵方巻を事例として

比較民俗研究, 23, 131-151, 2009-03
<http://hdl.handle.net/2241/104281>



なんとつくばリポジトリの
人気No.1論文!
毎年2月にアクセスが激増します

初対面の異性ととの会話を
心理学の手法で分析しまとめています
『筑波大学心理学研究』は、国内で
一番多く読まれている紀要なのです

初対面異性間における対人魅力と
会話行動が親密化願望に及ぼす影響
筑波大学心理学研究, 46, 49-56, 2013-08
<http://hdl.handle.net/2241/119881>



大学生の部活動・サークル集団に
関する研究動向

筑波大学心理学研究, 26, 95-105, 2003-09
<http://hdl.handle.net/2241/9478>



文化の秋、スポーツの秋……
大学生の課外活動にまつわる
先行研究を多数まとめています

あの「ガルパン」がとうとう
つくばリポジトリに進出!
茨城県大洗町での「町おこし」の
事例をまとめた真面目な論文です

茨城県大洗町における「ガールズ&パンツァー」が
もたらす社会的・経済的変化：
曲がり松商店街と大貫商店街を事例に
地域研究年報, 38, 61-89, 2016-02
<http://hdl.handle.net/2241/00138384>

